

EA935A-17A

【布用】接着剤 クリアチューブ入り

アイロンを使わずに、布どうしを
すばやく強力に接着します。

容 量

●30g

用 途

- 布製品(カーテン・寝具カバーなどの)の接着・補修。
- ジーンズ・作業ズボンなどの裾あげや破れた箇所・かぎ裂き・擦り切れなどのあて布の接着。
- 糸や編み物(毛糸)のほつれ補修。
- ワッペンやアップリケなど手芸用の接着・補修。
- 皮ゲルトなど革製品はがれ補修。(表皮や加工処理面には接着しません)
- 木と布製品の接着。

接着できるもの

面・レーヨン・ウール・麻・毛糸

接着しにくいもの

ポリエステル・ポリウレタン・アクリル・アセテート

《使えないもの》

- ・繊維質以外の材料全て。
- ・撥水加工など特殊加工してあるもの。
- ・薄手の衣類(表面に接着剤が染み出しシミになります)
- ・ナイロン、シルク。
- ・高価格品(スーツ・ドレスなど)
- ・表面にシミができるか否か確認できないもの。

使 用 方 法

※早く仕上げたいときやしっかり接着させたいときはアイロン接着を行ってください。

※使用前に目立たないところや同じ切れ端で試し、接着具合や染み出しの有無、

接着後の生地風の風合いなど必ず確認してください。

1.接着する箇所のほこりや糸くずなどを取り除きます。

2.本品を塗る生地の下に厚紙などを敷きます。

3.本品を付属のヘラで両面に均一に薄く塗り、すぐに貼り合わせ圧着します。

※多量塗りや塗りむらは接着剤の染み出し(はみだし)や生地風の風合いを損ねる場合がありますので、必ず均一に薄く塗ってください。

4.本品が乾燥するまで約1時間静置させるか、又はアイロン接着を行ってください。

※水洗いは24時間乾燥後、行ってください。

●アイロン接着の場合

※アイロンかけで縮む生地(アクリル・ポリウレタンなど)には使用できません

あて布をし、張り合わせ面をドライアイロン(中温度160度)で5～20秒間(厚地は長めに)動かさず圧着します。

あて布をすぐに外し、生地表面が常温に戻るまで静置させます。

※生地が浮いてしまった場合は再度本品を薄く塗り、すぐに貼り合わせ圧着します。

使用例

●ズボンの裾上げ(作業ズボン・ジーンズ)

- 1.ズボンの内側に念のため厚紙やプラスチック板(下敷きなど)を挟みます。
- 2.裾上げする部分をいったん折り返します。(アイロンで折り目をつけておくとキレイに仕上がります)
- 3.接着する箇所の両面(折り返し側とその反対側)に、本品を付属のヘラで均一に薄く塗り、すぐに貼り合わせ圧着します。
- 4.本品が乾燥するまで約1時間静置させるか、又はアイロン接着を行ってください。

●布同士(かぎ裂き部分のあて布接着など)ワッペン、デコレーションテープ等や木と布製品の接着

- 1.接着する箇所の両面に、本品を付属のヘラで均一に薄く塗り、すぐに貼り合わせて圧着します。
- 2.本品が乾燥するまで約1時間静置させるか又はアイロン接着を行ってください。

使用上の注意

- 使用後はチューブ先端部をきれいに、キャップをしっかり閉めて5度～40度の冷暗所で保管してください。
- 本来の用途以外には使用しないでください。
- 子供の手に届かないところに保管し、いたずらをしないように注意してください。
- 容器は中身を使い切ってから捨ててください。

万一の時の応急処置

- 目に入ったときはこすらずに(コンタクトレンズは外し)清水で15分以上洗い、直ちに医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着したときはすぐに拭き取り石鹸水でよく洗ってください。異常のある場合は医師の診断を受けてください。
- 誤飲した場合、水で口の中を洗い、多量の水を飲ませ、当商品を持参の上医師の診断を受けてください。